

2013年活動のご報告

人間情報学会 会長 室伏きみ子

「夢のつばさプロジェクト」は、東日本大震災で親を失った子どもたちを長期にわたって支援することを目的として、2011年の震災直後から続けられている活動です。お茶の水学術事業会（OAA）、ウェアラブル環境情報ネット推進機構（WIN）、全国てらこやネットワーク、遺伝カウンセリング・ジャパン（GCJ）の4つのNPOが実施母体となっています。

2013年度末までに、6回を数える宿泊型行事（夏・冬の長期休みに実施する3泊4日のキャンプ）を含め、現地に子どもたちを訪ねる春の交流会や保護者の方々との懇談会、孤児生徒の訪問など、計12回の行事を行ってきました。

このプロジェクトは、立ち上げ

以来、三十余の団体と数百名の方々から温かいご支援を頂いています。毎年続けてご寄付下さる方も多く、また毎回のキャンプには、スタッフとして多くの方々が、貴重な時間を割いてボランティア参加してくださっています。東北からやってくる子どもたちの送迎を毎回担当して下さる方や、豊富な人脈を駆使して企画作りに参加して下さる方、勤務を遣り繰りして駆けつけて下さる看護師さん、会計業務を手伝って下さる方、キャンプ中の緊急移動手段のためにと車を用意して参加下さる方など、さまざまな方々に支えられています。ボランティアの学生達も、毎回、心を込めて活動してくれています。2013年度に実施された2

回のキャンプの様子を、以下に簡単に報告します。

2013年度夏キャンプ

【実施期間】2013年8月6日～9日

【開催地】株式会社ブリヂストン 保養所「奥多摩園」（青梅市）

【参加内訳】子ども23名、学生ボランティア37名、大人スタッフ（看護師を含む）16名

【主な内容】

8月6日：開会式、施設探索ゲーム

8月7日：敷島製パン（PASCO）、がん研有明病院の見学

8月8日：朝の勉強会、レポート作成、運動会、音楽会

8月9日：閉会式、スライドショー、保養所の方々へのお礼

本活動も3年目となり、東北3県の教育委員会や児童相談所などとの連携も非常に順調で、募集後すぐに20名の募集人員を上回る応募がありました。今回は思い切って27名を受入れることを決めて準備しましたが、直前になって学校行事によるキャンセルなども出て、23名での催行（小1～高2）となりました。参加する子どもたちは、活動当初に比べて表情も言動も格段に明るくなりました。今回はキャリア教育の一環として、工場と病院の見学を盛り込みました。自分の成長の先を心に



夏キャンプ「がん研有明病院見学」

描いて、日常の学びへの励みとして欲しいと企画しました。

敷島製パン工場（埼玉県川島町）では、工場長はじめ多くの社員の方たちが出迎えて下さり、衛生面への厳しい取組と、機械化と経験が双輪となつてのおいしいパンづくりを知ることができました。がん研有明病院では、患者さんを治療し癒すために、医療スタッフや事務スタッフなどがチームとなつて働いていること、それらの資格取得のための道筋などを、分かり易いスライドを用いて解説していただきました。普段入り込むことのできないバックヤードの見学もあり、子どもたちだけでなく、学生や大人にとっても貴重な体験となりました。

また、保養所の広い庭での運動会、フルーツとピアノの演奏会なども実施しました。子どもたちは、口々に「また来るね」と帰って行きました。

2013年度クリスマスキャンプ

【実施期間】2013年12月21日～24日

【開催地】株式会社ブリヂストン 保養所「奥多摩園」（青梅市）、青梅市民会館（青梅市）

【参加内訳】子ども26名、大学生スタッフ40名、大人スタッフ（看護師を含む）16名



冬キャンプ「クリスマスパーティ」

【主な内容】

- 12月21日：開会式、アイスブレイク
- 12月22日：朝の勉強会、夢のつばさ祭り（お店屋さん、縁日）
- 12月23日：料理実習、人生ゲーム、クリスマスパーティ
- 12月24日：閉会式、スライドショー、保養所の方々への御礼

今回は26名（小学生18名、中・高生8名）を受入れました。その内22名がリピーターで、新規の参加者は、小学生2名、中学生と高校生が各1名でした。今回は遠出をせず、保養所とその近辺での時間的なゆとりをもった活動になりました。

自分達で食事を作る体験や、ゲーム作りを楽しみ、また恒例のクリスマスパーティを楽しみました。今回も桐朋学園から2名の素敵なフルーツ奏者を迎えて、大人スタッフ、学生スタッフがピアノを演奏するなど、楽しい時間をもつことができました。パーティの最後には、トナカイに担がれたサンタクロースが登場

して、サンリオやブリヂストンから贈られたプレゼントを配りました。

「また来るね、今度は1週間くらい居たいな」などといいながら帰って行った子どもたちは、気持ちよく挨拶する習慣を身につけました。スタッフ一同、子どもたちが自らを育て、心豊かな人に成長していけるよう、今後も寄り添って行きたいと決意を新たにしています。

【ご寄付のお願い】

ご協力いただける範囲でご寄付賜りますれば幸いです。ご芳名、ご住所（連絡先）を下記までお知らせください。領収書をお送りいたします（税金控除の対象にはなりませんので、あらかじめご了承ください）。

【連絡先】事務担当 滝澤公子
TEL/FAX 03-5978-5362
E-mail: tsubasa@npo-ochanomizu.org

【口座】三井住友銀行大塚支店
（店番号227）普通1284200
名称：特定非営利活動法人お茶の水
学術事業会理事長平野由紀子
（この口座は、夢のつばさ専用口座です）